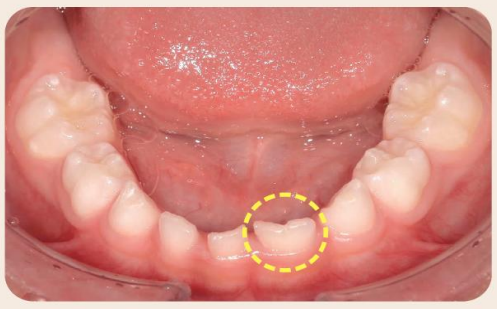
まつえだより

必見

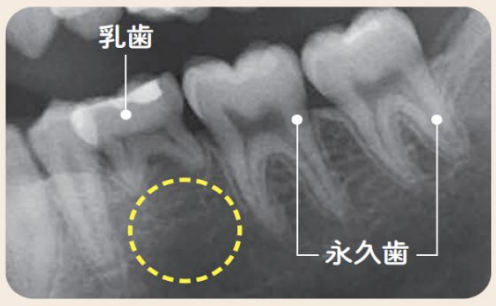
子どもの歯のよくみられる生え方トラブル

癒合歯（ゆごうし）



隣り合った2本の歯が、お互いにくっついて生えてくるふたごのような歯です。下あごの前歯にみられることが多いです。

先天欠如



生まれつき歯の芽（歯胚）がつくられず、歯の本数が通常より少ないことです。

乳歯の次に生えてくる永久歯がありません。

低位乳歯

乳歯が本来よりも低い位置にある状態です。生えてきてから低くなることもあります。

下あごの第一乳臼歯（奥歯）が周りより低いため、食べ物が噛みにくい状態に。

過剰歯（かじょうし）

通常の歯の本数よりも多くつくられた歯のことです。上あごの前歯にみられることが多いです。

上の前歯あたりに鼻のほうに向いて生えている逆生埋伏過剰歯があります。

異所萌出

本来の場所ではないところに歯が生えたり、傾斜して生えてくる状態です。

永久歯が傾斜して生えてこようとして隣の乳歯にあたっていました。その後方向を変えて生えましたが、すでに乳歯の根が吸収しています。

歯並びや噛み合わせの問題

指しゃぶりが原因で、上下の前歯にすき間が開いています。

先天欠如や異所萌出などが原因で歯並びや噛み合わせに問題が起きることもあれば、指しゃぶりや舌を出す癖によっても影響が出ることがあります。

エナメル質形成不全

歯の表面（エナメル質）がうまく形成されない状態です。

上の前歯がエナメル質形成不全です。

こうしたトラブルは、早めに気づければ、
治療の負担なども少なくてすむことがあります。
そのため早期発見・対応が重要です。
しかしいずれも
患者さんで気づくことは稀です。

だから、
定期歯科健診が
大事です!

現在まつえだ歯科では歯科衛生士さんを募集しています！